

ギンイチモンジセセリ

Leptalina unicolor

兵庫県：Bランク

環境省：準絶滅危惧 (NT)

種の概要

前翅長13～21mm程度。翅の表面は前後翅ともに黒褐色。後翅は前翅では黒褐色、後翅では黄褐色地に銀白色の条線を備える。草地に生息し、幼虫はススキ、チガヤ、オオアブラススキを食べる。本州以南では年2～3化性で、成虫は4月～5月及び7月～8月、8月～9月に出現する。



写真提供：近藤伸一

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、西宮市、三田市、三木市、多可町、神河町、宍粟市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、丹波市

選定理由

| 人為性 | | 特殊生息環境 | 学術性 | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|----|
| 個体数激減 | 生息環境激変 | | 分布が極限 | 分布の限界 | 希少 |
| ○ | ○ | | ○ | | |



特記事項

阪神地域、播磨中部地域、氷ノ山・ハチ高原周辺など旧15市町で39箇所の記録があったが、播磨中部地域では1980年代に見られなくなり、他の地域でも個体数を減じている。阪神間では河川敷、堤防などの草原環境が悪化し、播磨中部地域では開発や放置による草原の喪失、過度な火入れによる草原管理などで生息環境が悪化した。

保護上の留意点

一部の地域では草刈りなど生息環境の保全・拡大を進めている。